

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称【1】	マスコット管理事業		担当課【2】	商工観光課			
			評価者(担当者)	津川 隆一			
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり				重点 施策【4】	
	主要施策(節)	(5)観光の振興					
	施策区分					<input type="checkbox"/> 該当	
実施の根拠(複数回答可)【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【年度予定 : 金額 千円】						
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【玉名市マスコット「タマにゃん」の使用に関する規則】						
	<input type="checkbox"/> その他の計画【】 <input type="checkbox"/> 該当なし						
事業区分【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業		<input type="checkbox"/> 義務的事業		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業		
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務		<input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業				
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計		<input type="checkbox"/> 特別・企業会計【】		款 7 項 1 目 2 細目 14		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	音楽イベントマスコットとして誕生し、平成23年度から玉名市のマスコット「タマにゃん」として正式に位置づけ商標登録している。その「タマにゃん」を玉名のイメージアップや認知度向上に積極的に活用していく必要がある。
対象(誰、何に対して)【9】	マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者
意図(どのような状態にしたいのか)【10】	タマにゃんの着ぐるみの貸出やマスコットの使用によって、市のPR活動やイメージアップにつなげ、市内外における玉名市の認知度の向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】 【 H23 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【】
実施方法【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【】
事務事業の具体的内容【14】	申請者が実施する企画や実施する音楽をはじめとした様々なイベント等の場において、「タマにゃん」の使用が適切と審査した場合には、無償でマスコット・着ぐるみの使用・貸し出しを許可する。
	事務事業を構成する細事業【15】
	① 玉名市マスコット管理事業
	② 玉名市マスコット製作業務
	③
	④
	⑤

《事務事業実施に係るコスト》

			H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画
投入 コスト	事業 費 (千 円)	国庫支出金	%				
		県支出金	%				
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源		599	90	493	100
		【16】 小 計		599	90	493	100
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	
職 人 員 の 費	職員人工数		0.10	0.16	0.25	0.25	
	職員の年間平均給与額(千円)		5,685	5,610	5,610	5,610	
	【17】 小 計		569	898	1,403	1,403	
合 計			1,168	988	1,896	1,503	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 玉名市マスコット管理事業	マスコット及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数	件	54	63	54	70
② 玉名市マスコット製作業務	着ぐるみを委託により製作する。	着ぐるみ製作数	体	1	0	1	0
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 着ぐるみ使用許可件数	着ぐるみの貸し出しを許可した年間件数	件	38	50	50	50
			38	49	39	
2 マスコット使用許可件数	マスコットの使用を許可した年間件数	件	16	20	20	20
			16	14	15	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明	
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	玉名市の認知度の向上に支障をきたす。	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。		
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。		
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。		通年開催されているイベントでの貸出しになっているため、今後は「ゆるキャラグランプリ」へのエントリーや新規のまつり、イベントへの参加、キャラクター商品の作成等へ積極的に取り組む。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。		
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。		
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。		
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。		
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。		
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。		
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。		

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	さらなる玉名市の認知度向上を図るため、新規の各種イベント等へ積極的に参加することで、玉名市の認知度向上へつなげる。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	各種イベント等への参加やキャラクターの商品化については、玉名の知名度アップに繋がるため積極的に推進する必要がある。	評価責任者 平野 博幸
------------------	---	----------------